

『真光寺川 里親の会』通信

6月号 一通算第146号

2013年6月9日

鶴川村の今昔

江 戸時代にはなかった鶴川村 真光寺川は昔から鶴川を流れている川と考えられています。然し江戸後期に編纂された新編武蔵風土記稿には鶴川村はありません。鶴川村が誕生したのは明治22年(1889年)のことです。明治政府は町村制を採用し小野路・野津田・真光寺・広袴・能ヶ谷・三輪・大蔵・金井の八村を統合し鶴川村とします。(地図参照) 当時は神奈川県に属していました。三多摩全域と共に東京府に移管されるのは明治26年(1893年)のことです。コレラが蔓延し玉川上水の水質問題が切っ掛けだったと言われています。それから八村を統合した鶴川村時代が70年近く続くこととなります。現在の能ヶ谷と大蔵の一部を占める区画になるのは、昭和33年(1958年)市制が施行され町田市が生まれた時のことでした。



縄 文人の狩場だった多摩丘陵 数十万年前、この辺りは海底だったようです。三輪の辺りから二枚貝の化石が発見されています。富士山や浅間山の噴火の結果関東ローム層が堆積し、なだらかな多摩丘陵を形成します。縄文初期(1万年前)から中期(5千年前)にかけては縄文人の恰好の狩場だったようです。川に近く小高い丘の上に縄文人の遺跡や土器が多く発掘されています。ところが縄文後期(3千年前)から弥生時代(2千年前)にかけては遺跡がめっきり少なくなってきます。西から伝わってきた稲作という新しい文明に風土的になじまなかったのかもしれませんが。

鎌 倉ハヤノ道と気になる地名 能ヶ谷橋から山裾の旧道を辿ると神明神社を経て見晴らしのいい尾根に出ます。鎌倉ハヤノ道です。頼朝が鎌倉に幕府を開いた鎌倉時代、関東・信濃・上州等に散在していた御家人達が「いざ、鎌倉！」と馳せ参じた道だと言われています。近くに「井出の沢」や「分倍河原」の古戦場があるところからも、この辺りが鎌倉への要衝の地だったことがわかります。真光寺川に架かる矢崎(先)橋の名は、源義経のご家人・亀井六郎重清が七国山から射た矢先が刺さったことに由来すると言う伝承があります。源氏と言いますとそれに因んだ地名が多いことも気になります。鶴川5丁目に源太ヶ谷(げんたがや)と呼ばれている場所があります。悪源太義平(頼朝・義経の長兄)は、久寿2年(1155年)「大蔵の館」で叔父源義賢(木曾義仲の父)を殺害したと歴史に記されています。木曾、大蔵、御廓、的場、陣屋等源氏ゆかりの地名があります。現在、「大蔵の館」は埼玉県比企郡大蔵だとされていますが、ひょっとしたらと気になるところです。

ベ ッドタウンへ 小田急が開通し鶴川駅ができたのは昭和2年(1927年)のことです。新宿が近く便利になりましたが、真光寺川周辺に田園の広がる豊かな農村地帯でした。米作日本一に輝く篤農家も出ています。都市近郊のベッドタウンとして目覚ましい変貌を遂げるのは昭和30年代後半に入ってからです。鶴川団地ができたのは、昭和42年(1967年)のことでした。真光寺川周辺に広がる美田や栗・桃・柿の畑はすっかり住宅地になってしまいました。真光寺川は住宅地を流れる都市部の川として、世の中の移り変わりを映しながら、今日もおだやかに流れています。(文 山口拓郎)

真光寺川まつり2013 今年も見送りとします。

こ ども達に川で遊び、自然に親しんでもらいたいと考え、2002年から7月末頃に真光寺川まつりを毎年開催してきました。この間、2010年と昨年は水の汚れで開催を見送りました。今年は残念ながら昨年につづき真光寺川まつり2013は中止と致します。

その理由は「川が汚れている」からです。1月の新矢崎橋でのBODは3.4と川の中での水遊びの基準値3.0を超えています。また見た目でも汚れているからです。川底にはワカメのような藻がビッシリ生え、断続的に茶色の藻や泡が流れています。これでは、こども達に川に親しみ、楽しんでもらうことが出来ないと判断したからです。来年は是非開催できるよう川の環境を改善したいものです(文山本隆治)

南東建と真光寺川の環境改善について真光寺川で打合せを行う

吉原都議、高梨秘書の斡旋で、4月16日、東京都南多摩建設事務所（略称 南東建）の森副所長他6人と吉原都議、高梨秘書及び真光寺川を清流にする会から山本他7人が参加し、広袴公園から真光寺川の矢崎橋の間を1時間半にわたり歩きながら、2月に要望した事項について設置・施工して欲しい場所で具体的に要請致しました。内容は以下のとおりです。この日は汚い藻が流れひどく川が汚れていました。

- ① 看板の設置（餌を与えないで、ゴミを捨てないでの看板）
- ② 川の中の倒木や茂り過ぎた樹木の伐採・剪定
- ③ 水質改善のための蛇籠の設置
- ④ 魚の遡上を阻止している落差のあるセキの改善
- ⑤ 五條池から魚や植栽を取らないよう、囲いか看板の設置
- ⑥ 下堰親水に「下堰親水」の名称の表示をする
- ⑦ 新矢崎橋付近に捨てられたガラスの処置

その後、4月22日には①と⑤の看板が設置されました。

（文：山本 隆治）



矢崎橋付近に設置された看板

里親の会 2011 年度会計報告

平成 24 年度(平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月)の会計報告をいたします。

収入		支出	
前年繰越金	114,758	里親通信費計	40,797
寄付	66,680	(印刷等作成費)	6,628
補助金	7,000	(通信費)	34,169
講師料	5,000	ホームページ維持費	22,050
利息	12	慶弔費	20,000
		打ち合わせ会場費	6,000
		雑費(文具、振替費用、めだかポスト修理)	2,552
収入計	78,692	支出計	91,399
		次期繰越金	102,051

また、平成 25 年 3 月末の会員数は清流にする会 39 名、里親の会 82 名 計 121 名でした。

メダカポスト

4～5 月は 能ヶ谷の淀様、赤城様、小川様、真光寺の仲村様からのご寄付のほか、メダカポスト、見つめ会、一木会からのご寄付を合算し合計で 41,396 円でした。里親の会の活動に対してお寄せいただきました皆様のご厚志に深く感謝いたします。

川の近況

今五條池のキショウブが見事に咲いています。ご覧

ください。また真光寺川ではカルガモの子が生まれ、8匹の兄弟が親の後を追って行進しているのを楽しめます。全羽無事に成長するのを見守りましょう。



4月・5月の清掃報告

4月14日はさわやかな春風の中で清掃を行いました。17名が参加し、合計22袋のゴミを拾いました。また5月12日は18名が参加して、20袋のゴミを拾いました。4月にはみどりの森保育園の園長や園児親子が、5月には能ヶ谷7の高校生の鈴木兄弟、平和台の森田さんなど新しく参加いただきました。川は藻が繁茂してかなり汚れていました。それでも小魚が泳ぎヘビやカメやカルガモなど生き物が元気に生きているのを見て慰められるとの声が聞かれました。

7月の清掃日は7月14日(日)、8月の清掃日は8月11日(日) 一緒に川を綺麗にしませんか

清掃(クリーン作戦)は月に1度、第2日曜日に集合し、川の中や川の周辺のゴミを拾います。持ち物は軍手程度。ごみ袋、火ばさみ、長靴など一部用意があります。一般の方のご参加大歓迎です。
 ☆集合時間：9:30 下堰親水場(能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏)
 ☆クリーン作戦：約1時間半程度。鶴見川との合流点・開戸親水場～広袴調整池の直下の神明橋間を分担してゴミを拾います。 解散予定 11:00

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』 会長：山本隆治 町田市広袴 3-24-11 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp
 事務局：町田市能ヶ谷 7-32-10 黒田健夫 TEL/Fax 042-708-4269 e-mail kawasemi@shinkojigawa.com